

事業所名

児童デイサービスアトラス名護いさがわ

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2026 年

5 月

29 日

法人（事業所）理念		「遊び」を通して、精神的、身体的機能を最大限に伸ばし、将来社会的自立ができるようになることを目標とした一人ひとりの発達段階に合った内容を考え、身辺自立、運動、認知、言葉、社会性などの指導を行います。 子供たちが、好きなことや楽しいことを見つけて「もっと知りたい」を伸ばしていけるようにのびのびと活動出来る場所として事業所の利用をしていただける事が大切な事だと考えております。			
支援方針		「遊び」を通して、精神的、身体的機能を最大限に伸ばし、将来社会的自立ができるようになることを目標とした一人ひとりの発達段階に合った内容を考え、身辺自立、運動、認知、言葉、社会性などの指導を行います。 子供たちが、好きなことや楽しいことを見つけて「もっと知りたい」を伸ばしていけるようにのびのびと活動出来る場所として事業所の利用をしていただける事が大切な事だと考えております。			
営業時間		① 9 時 00 分から ② 10 時 00 分まで	18 時 00 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	◆来所して一連の流れ（靴を脱ぐ・靴をしまう・うがい・手を洗う・（トイレに行く）など）を自然とながれが身につくようサポートしていきます。また、来所時に検温測定、体調確認を実施。 ◆家庭や学校と共有しながらトイレトレーニングをおこなっています。できた時にはたくさん褒めて自信につなげるようにサポートしていきます。			
	運動・感覚	◆身体を動かす活動や感覚運動を通して、バランス感覚や身体の使い方、感覚面への支援をしていきます。			
	認知・行動	◆見通しを持ち、安心して行動に移すことができるようその日のスケジュールを提示し、流れを明確にわかりやすくしています。 ◆自由遊びの時間等、時間を視覚的に確認出来る事で見通しをもって行動できるように行動時間タイマーを使用しています。 ◆公園遊びに行くときには、楽しみながら戸外活動のルールを学んでいきます。			
	言語コミュニケーション	◆「おはようございます」「さようなら」「ありがとう」「ごめんなさい」等職員が手本となってひとり一人の表現方法で挨拶が自然に身につくことが出来るように心をかけています。 ◆様々な遊びに行くときには、楽しみながら戸外活動のルールを学んでいきます。			
	人間関係 社会性	◆異年齢のお子様とも一緒に活動を行い集団であることに意識を持ちながら交流が持てるように見守り、声かけをしながら支援していきます。 ◆こどもが発信した言葉に注目したり、表情や表現をみて思いを受け止め、やり取りにつながる言葉かけを大切に支援していきます。			
家族支援		◆事業所での様子を丁寧にお伝えし、ご家庭でのご様子も伺いながら悩み事などの相談にも応じます。お子様も保護者様も安心して生活していただけるようサポートしていきます。		移行支援	◆送迎時に園や学校、他事業所ご利用時の様子を伺いながら、情報共有をする。また、支援の方向性を理解して統一したステップアップにつながるよう連携を図ります。
地域支援・地域連携		必要に応じて関係機関との連携を図り情報共有をしていきます。また、外出（買い物学習・施設見学）地域の方々との交流を大切にしていきます。		職員の質の向上	◆車内研修を積極的な参加やを行っています。研修後、報告等を行い情報共有を図ることでより良い支援を目指しています。
主な行事等		◆季節に応じた活動などを多く取り入れていきます。			